

BeFine!

第48期

第2四半期株主通信

2014年4月1日～2014年9月30日

証券コード 6869

シリーズ・現場のチカラ [3] 5ページ

検査現場の 安心を進化させる



タージ・マハル(インド)

二桁増収となった海外を中心に、 増収・増益を達成しました。

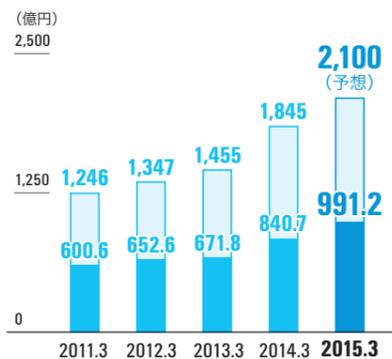
第48期
第2四半期の
ポイント

ポイント
1 米州・EMEA*地域をはじめ、
全ての所在地で二桁増収を達成

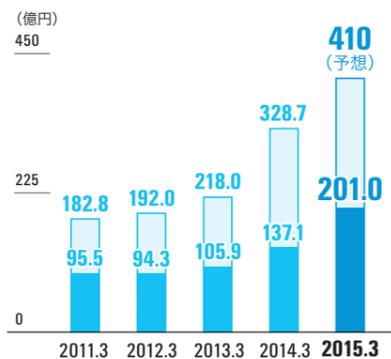
ポイント
2 増収効果に加え、円安の影響もあり、
利益が大幅に増加

■ 通期 ■ 第2四半期

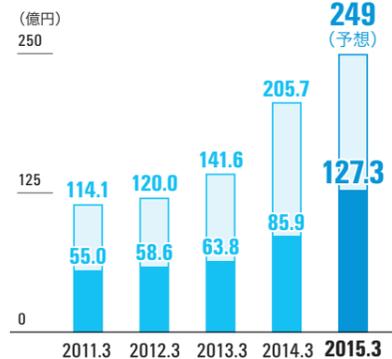
売上高 **17.9%増**
(前年同期比)



営業利益 **46.6%増**
(前年同期比)



四半期(当期)純利益 **48.2%増**
(前年同期比)



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2015年3月期 第2四半期の業績は、海外を中心に売上が伸長し、増収を達成しました。また、増収効果に加え、円安の影響もあり利益が大幅に増加しました。売上高は前年同期比17.9%増、営業利益は同46.6%増、経常利益は同46.2%増、四半期純利益は同48.2%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比13.5%増、営業利益は同22.6%増となります。

国内は、免疫分野の売上が増加したものの、消費税増税の影響などもあり、横ばいとなりました。海外は、米州やEMEA地域をはじめ、全ての所在地において二桁増収を達成しました。特にEMEA地域では、ヘマトロジー分野*や血液凝固分野の売上伸長に加え、パルテック社、アイノスティクス社の連結子会社化の影響もあり、売上高が大幅に伸長しました。海外の売上が伸長したことにより、当社グループの海外売上高比率は80.8%となりました。

なお、2015年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高はほぼ予想通りですが、上期における増益の状況を踏まえ、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

配当につきましては、年初予想(中間・期末14円)に対し各2円増配し、年間では32円を予定しています。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■2015年3月期通期業績予想 (億円)

| 発表期 | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 想定為替レート (円) | |
|--------------------|-------|------|------|-------|-------------|-------|
| | | | | | 1USドル | 1ユーロ |
| 2014年11月発表 | 2,100 | 410 | 407 | 249 | 104 | 137 |
| 2014年5月発表 | 2,100 | 360 | 360 | 220 | 100 | 135 |
| 【参考】 2014年3月期実績 | 1,845 | 328 | 337 | 205 | 100.2 | 134.4 |

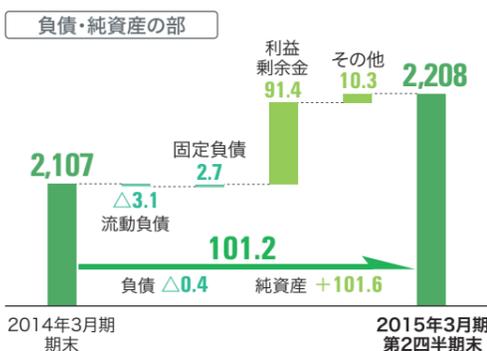
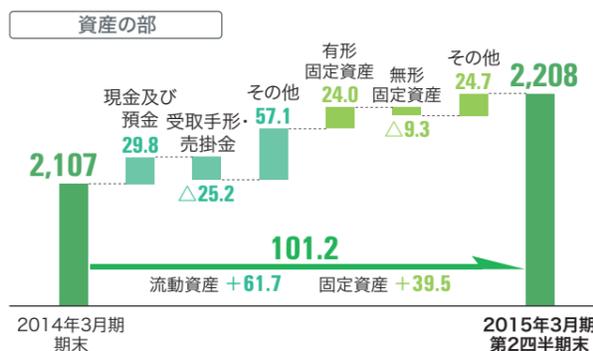
代表取締役会長兼社長

家次 恒

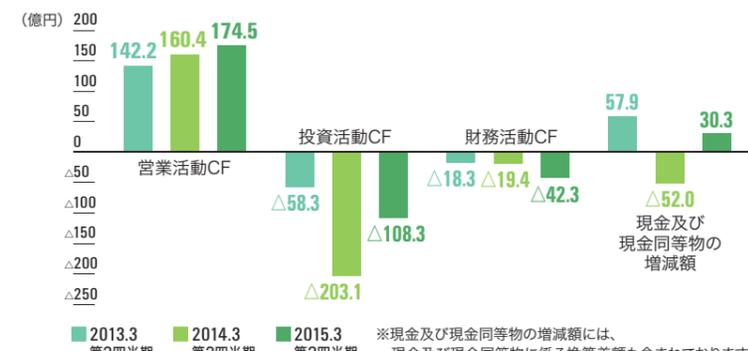
いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。
【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



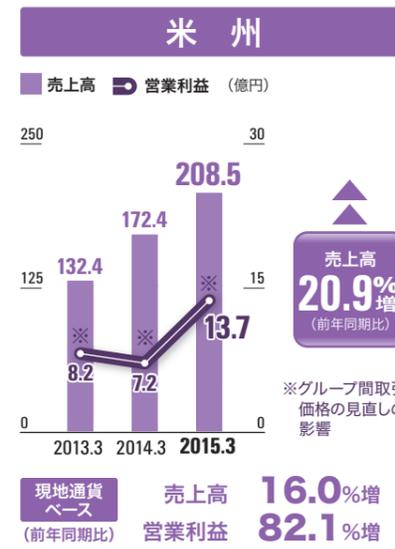
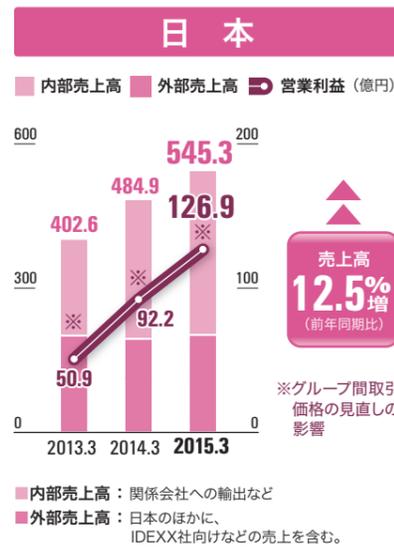
●1株当たり配当金/配当性向



※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

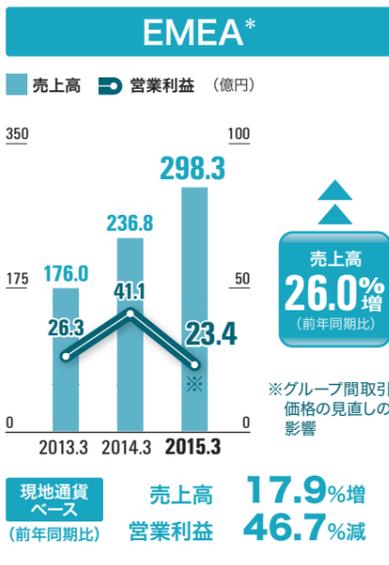


(為替レート(期中平均)) (円)

| | 2013年 3月期 第2四半期 | 2014年 3月期 第2四半期 | 2015年 3月期 第2四半期 |
|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1USドル | 79.4 | 98.9 | 103.0 |
| 1ユーロ | 100.7 | 130.0 | 138.9 |

- 消費増税の影響もあり、日本市場は横ばいとなりました。
- 海外関係会社向けの内部売上の増加や、グループ間取引価格の見直しの影響により、全体としては増収・増益となりました。

- 米国では医療施設の設備投資の回復基調に加え、XNシリーズの販売好調に伴い、機器と試薬の売上が増加し、大幅な増収となりました。
- 売上の伸長による増収効果により、大幅な増益となりました。



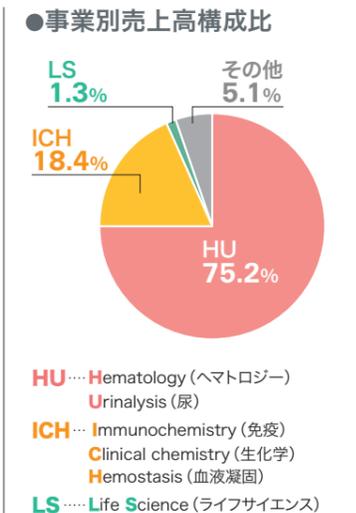
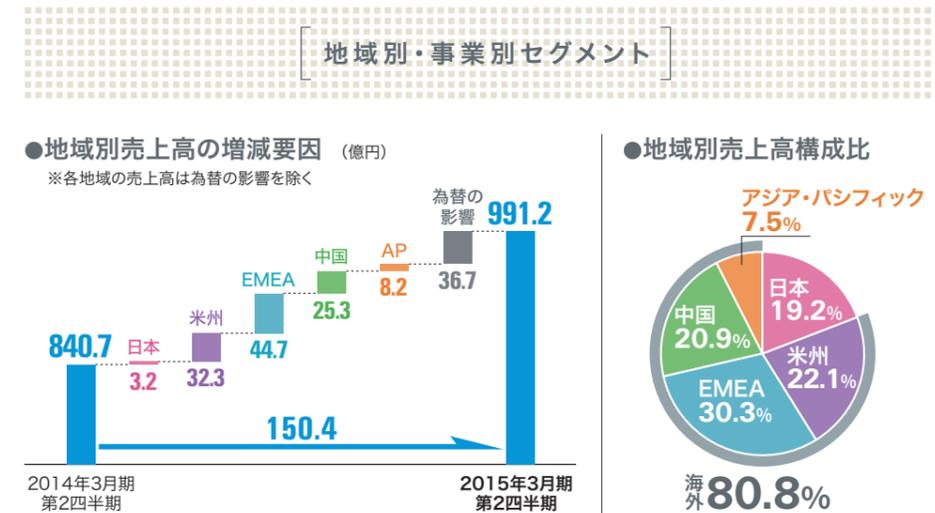
- ヘマトロジー分野*や血液凝固分野の伸長に加え、バルテック社、アイノスティクス社の連結子会社化の影響もあり、大幅な増収となりました。
- 二桁増収となるも、グループ間取引価格の見直しにより減益となりました。



- 市場での販売停滞による影響が一部継続したものの、ヘマトロジー分野や血液凝固分野を中心に売上が伸長しました。
- グループ間取引価格の見直しの影響があるものの、増収効果により増益となりました。



- オーストラリアの大幅な伸長が、インドネシアなどの減収を補い、増収となりました。
- インドの直販体制の整備や、シンガポール試薬工場の拡張に伴う費用の増加などにより、減益となりました。(注)日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。



グローバルレポート

成長著しいインドで 直接販売・サービス体制を強化

中国に次ぐ世界第2位となる12億人以上の人口を有し、今後も人口の増加が見込まれるインドでは、著しい経済成長とともに、医療インフラの拡充、医療の質の向上が進められています。インドの検体検査市場は現在、日本の約8分の1の規模ですが、今後は毎年約12~16%の高い成長が期待されています。

当社は1993年に現地代理店を通じてインドでの販売・サービスを開始して以来、ヘマトロジー分野*を中心に事業基盤の整備、現地代理店を活用した販売・サービスを推進してきました。そして成長著しいインドでのさらなる成長に向け、2014年4月にオフィスに移転し、これまで直接販売・サービスを実施していた尿検査分野に加え、血液凝固検査、生化学検査の分野でも直接販売・サービスを開始しました。なお、ヘマトロジー分野においては現地代理店とのビジネスを継続し、現地代理店へのサポート体制をより一層強化します。

直接販売・サービス体制の強化により、お客様との直接的なコミュニケーションを通して多様な課題へのソリューション提案*を行います。さらに、当社の強みである学術啓発活動の充実などを進め、インドにおける総合サプライヤーを目指します。

●インドの将来推計人口

14 (億人)

13

12

2014 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 (年)

出典：United Nations, World Population Prospects: The 2012 Revision

新しいオフィスの外観

オープニングセレモニーの様子

*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ソリューション提案: 製品やサービス&サポートを組み合わせた提案によってお客様のニーズにお応えすること。

検査現場の 安心を進化させる

シスメックスの主力であるヘマトロジー分野*の検査に革新的な価値をもたらした「XNシリーズ」。この製品はどのようにして生まれ、医療現場で高い評価を得ていったのか——。シリーズ第3回は、「XNシリーズ」でさらに充実した、サービス&サポートの特長についてご紹介します。



XNシリーズ (XN-9000)

技術サービス部
企画・システムグループ
係長 藤田 たみ子

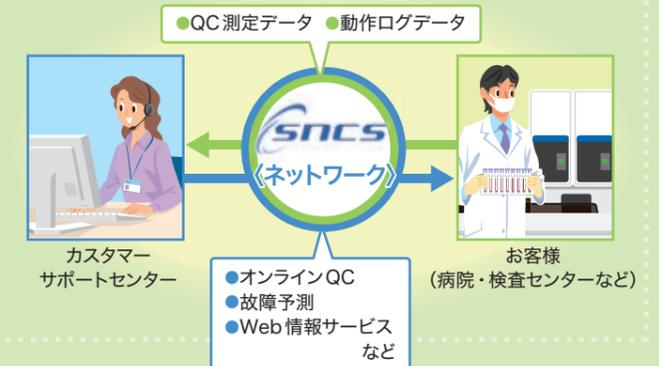
カスタマーサポートセンター

お客様からのお問い合わせの「総合窓口」。専任のオペレーターとスペシャリストが迅速・的確な対応を心掛けています。

POINT

お客様の機器とシスメックスをネットワークでつなぐ「SNCS*」

シスメックスはさまざまな支援をオンラインで行う「SNCS」という独自の仕組みを構築しています。「SNCS」ではお客様の機器とシスメックスのカスタマーサポートセンターを専用のネットワークでつなぎ、測定結果の信頼性を常にサポートする「オンラインQC*」、有用な情報をいつでもウェブサイトから入手できる「Web情報サービス」など、いつでも安心して検査をしていただくためのサービスを提供しています。「SNCS」は、世界中のお客様から高い評価をいただいております。お客様にシスメックスの製品をお選びいただく理由の一つにもなっています。

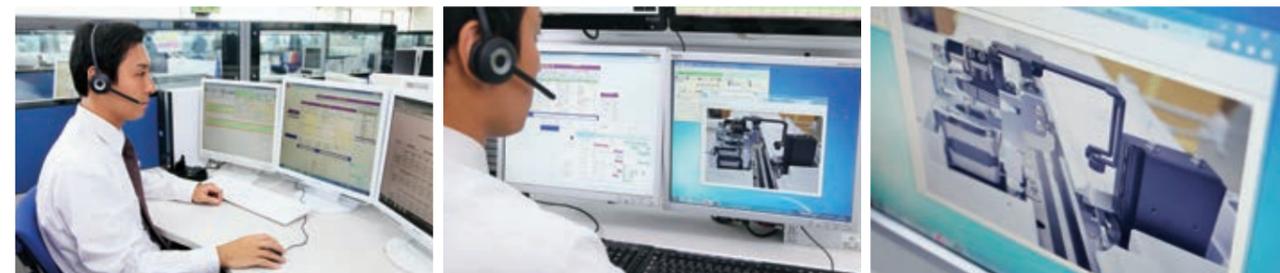


『医療を止めない。そのために、トラブルにより検査機器が止まる時間を、限りなくゼロに近づけることが目標です。』

いつでも安心して 検査ができる環境を支えるために

検査の現場を支えるシスメックスの役割は重要です。もし、検査機器にトラブルが起き、検査ができなくなってしまうら——。お医者様は診断や治療をするために必要な情報が得られず、医療が止まってしまう。このようなことが

起きるのを防ぐために、私たちは徹底的に品質を高めた故障しにくい機器をお届けしていますが、それだけではなく、常にサービス&サポートの質を向上させてきました。その結果、シスメックスのサービス&サポートは、医療業界では他に類を見ないほど充実したものになっており、「XNシリーズ」においても「故障を予測する」という最先端の機能を実現しています。



技術情報を熟知したスペシャリストが見つめる画面には、サポート履歴などを迅速に確認できる独自のコールセンターシステムや、お客様の機器の内部を撮影したウェブカメラの映像など、さまざまな情報が表示されています。

トラブルが起きる前に防ぐ—— データ解析に基づく 「予防保守」を導入

「お客様のところにある機器をネットワーク経由でモニタリングし、検査データや機器に異常が現れたらすぐに発見して対処する」という機能は、「XNシリーズ」が登場する前からありました。しかし、従来はあくまで「事後の対応」であったのに対し、「XNシリーズ」からはトラブルを「事前に予測」し、「未然に防ぐ」ことが可能になったのです。

「XNシリーズ」をはじめ、シスメックスの機器の各部には多くのセンサーが取り付けられており、機器の状態を示すさまざまな情報がリアルタイムでシスメックスに送られてきます。私たちはこの膨大な情報のなかから「不具合の予兆となりそうな情報」を拾い上げ、トラブルとの関連を見つけ

出すことに成功しました。

例えば、機器を構成する部品のなかには、使えば使うほど性能が劣化していくものがあります。この部品の状態を独自の基準のもとに監視し、トラブルの予兆が検出された際には、部品の交換など必要なメンテナンスを予防的に実施することで、異常が発生するのを抑えることができるようになりました。

このような「予防保守」に対応できる機種や部位はまだ限られていますが、予測の精度を上げ、よりの確なメンテナンスを実施できるようにしていくことが現在の課題です。「予防保守」により、検査機器が止まる時間を限りなくゼロに近づけることを目指して——。これからもより高いレベルでのデータ解析と応用に取り組み、検査のさらなる安心を追求していきます。

➡ 次回は、営業担当者の声を通して、「XNシリーズ」に対するお客様の評価をご紹介します。お楽しみに！

5 *ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*SNCS:「Sysmex Network Communication Systems (シスメックス ネットワーク コミュニケーション システムズ)」の略。

*QC:「Quality Control(精度管理)」の略。

株主様会社見学会のご案内

見学場所：機器生産拠点「アイ スクエア」
(兵庫県加古川市)

開催日時：2015年3月20日(金)
13:00(集合) / 16:30頃(解散)

対象者：2014年9月30日現在、
当社株式100株以上をご所有の株主様

集合・解散場所：JR加古川駅 近辺(予定)

参加費：無料

※ご見学に1時間30分ほどお歩きいただきますので、ご了承ください。



国内初の自動血球計数装置が 「第3回分析機器・科学機器遺産」に認定

当社が1963年に開発した国内初の自動血球計数装置「CC-1001」が、一般社団法人日本分析機器工業会と一般社団法人日本科学機器協会より、「第3回分析機器・科学機器遺産」の認定を受けました。血液中の赤血球や白血球の数を計測する血球計数検査は、それまで100年近くの間、医療従事者が顕微鏡を用いて目で行っていました。「CC-1001」が自動化を実現したことで、血球計数検査は、国内に広く普及しました。今後も検査のさらなる質の向上や効率化に向けた研究開発を進め、医療の発展と進化に貢献していきます。



自動血球計数装置
「CC-1001」

免疫検査の小型装置 「HISCL[®]-800」を新発売

2014年9月、全自動免疫測定装置「HISCL[®]-800」の発売を開始しました。「HISCL[®]-800」は小型でありながら、既存の製品の高い性能と操作性を継承しており、肝臓の線維化の進行やアトピー性皮膚炎などを調べる独自の測定項目を強みとしています。製品ラインアップを充実させ、先進国から新興国までお客様のより多様なニーズへお応えします。



全自動免疫測定装置
「HISCL[®]-800」

応募要領

- 募集人数** …70名 ※応募人数が多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- 応募方法** …同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、ご送付ください。
- 応募締切日** …2014年12月31日(水) 当日消印有効



【お問合せ先】

シスメックス株式会社 IR・広報部 会社見学会係

Tel 078-265-0515

受付時間：10:00～17:00(土・日・祝祭日、その他会社の休業日を除く)

会社概要

(2014年9月30日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 103億8,584万円

- 格付け A+ (R&I: 格付投資情報センター)
- 従業員数 6,477名(連結) 2,292名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先(郵便物送付先・電話照会先)
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。